



国立科学博物館

賛助会費を使った活動(2022年度)

2022年度におきまして、賛助会員の皆様にご支援をいただきました賛助会費により、様々な博物館活動を実施することができました。厚くお礼申し上げます。ここに深く感謝の意を表しますとともに、活動内容の詳細をご報告させていただきます。

標本資料の製作・購入・受入・保存・修復

- ウミガメ類剥製受入
- 菌類標本関連資料の受入
- 貴重錦絵・図譜の修復 等



青少年の自然科学等への興味・関心の向上

- 植物園でSDGsを学ぶプログラム開発
- オンラインを活用した博物館鑑賞事業
～科学系博物館の少ない地域の
子どもたちに博物館鑑賞体験を～



地域博物館等と連携したイベント

- 巡回展
「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」
金沢 21 世紀美術館への巡回



標本資料の製作・購入・受入・保存・修復

資料・標本の充実が調査研究だけでなく今後の展示や学習支援活動につながります

貴重標本・資料の受入



大型タイマイの剥製
(甲長約80cm)



フィリピン・セブ島産ウミガメ類の剥製の受入 285点

アオウミガメ195点、タイマイ90点からなるコレクションの受入を行いました。両種とも絶滅危惧種であり、ワシントン条約の対象種であるため入手が困難です。採集地情報も有しているため学術的に大変貴重な標本です。



ヌメリコウジタケ水彩画

菌類標本関連資料の受入 約6,900標本分 等

『北陸のきのこ図鑑』(著:池田良幸)に掲載された標本の関連資料です。

図鑑には多数の仮名きのこが収録されており、その多くは新種である可能性が高いと考えられています。水彩画にはきのこ類の採取時の色や形が詳細に記録されており、当館に保管されているスケッチの基となった標本と比較し分類学的研究に活用します。

標本資料の製作・修復



①錦絵:虫穴・亀裂箇所を修復しました



②図譜2点:汚れ・カビを除去し、装丁と裏打ち布を取り替えました



貴重錦絵・図譜の修復

- ①1872年文部省博物館が湯島聖堂大成殿において最初の博覧会を開催した際の陳列品を描いた有名な錦絵です。
- ②東京帝室博物館天産部より科博へ移管された天産資料のうちの2点であり、大変貴重な資料です。2024年には天産資料移管100年、2027年に創立150年を迎えることから、今後展示の機会を設ける予定です。

青少年の自然科学等への興味・関心の向上

青少年の自然科学等への関心を高めるための学習活動を行いました

植物園でSDGsを学ぼうー絶滅危惧植物編ー



「絶滅危惧植物編」ワークシート



「なぜ生物は“絶滅”してしまうのか?」解説パネル

筑波実験植物園では、新たな切り口でSDGsを学べる学習プログラムを開発しました。この学習プログラムは、絶滅危惧植物を守るためにはどうすれば良いか、植物を絶滅させてしまう要因は何が考えられるか、そして、絶滅危惧植物等を守ることはSDGsの17のゴールとどう関わりがあるか、について考えるものです。2022年度は東京都・埼玉県の中学校・高等学校3校に計5回、本プログラムを実施しました。

オンラインを活用した博物館鑑賞事業

ー科学系博物館の少ない地域の子どもたちに博物館鑑賞体験をー



渡名喜島 小中学校への授業



石垣島 小学校への授業

科学系博物館が少ない沖縄県の子どもたちに、沖縄県の豊かな自然と風土への理解と、科学への関心の両方を深めて頂くことを目的にオンライン形式の授業を行いました。

- ①沖縄本島中学校 (テーマ: 港川人)
 - ②琉球大学病院及び特別支援学校 (テーマ: 恐竜)
 - ③石垣島小学校 (テーマ: 絶滅危惧植物)
 - ④渡名喜島小中学校 (テーマ: 地底火山)
- テーマ別に計4回実施しました。

地域博物館等と連携したイベント

当館収蔵標本を活用し、地域博物館等へ展示を巡回しました

巡回展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」 金沢21世紀美術館への巡回



世界屈指の動物剥製標本コレクションとして知られる「ヨシモトコレクション」を中心に、ウシ科、シカ科の大型哺乳類からモグラ、ネズミ等の小型哺乳類まで、多様な標本を展示しました。引き出しに標本観察のヒントや解説コンテンツが設けられ、青少年を含む幅広い年齢の方に、科学への興味関心を高める機会を提供しました。

国立科学博物館の賛助会員制度について

国立科学博物館賛助会員制度は、当館事業の趣旨にご賛同いただいた皆様（会員）から当該事業へご支援（会費）をいただき、1年単位の寄付会員制度です。個人会員と団体（法人）会員がございます。

ご支援により、青少年の自然科学等への興味・関心の向上に関する事業、地域博物館等と連携したイベント、標本資料の製作・購入・受入・保存・修復等の事業を推進しております。

今後もより多くの方にご賛同いただきたく、
引き続きご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

入会手続き・特典など、詳しくは、「賛助会員入会のご案内」、当館ホームページをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/about/donation/patronage/>

お問合せ先：独立行政法人国立科学博物館 賛助会員担当

電話番号：03-3822-0111（月～金） メールアドレス：sanjyo@kahaku.go.jp

